

令和5年4月13日

郡市区等医師会 御中

大阪府医師会  
(公印省略)

「感染症発生動向情報（第14週）」の送付について

平素は、本会事業の推進に対しまして、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、標記につきまして、大阪府感染症情報センターより、週報データが届きましたのでご提供申し上げます。ご活用のほどお願い申し上げます。

コメントのピックアップ内容は府医ニュースにも掲載しており、大阪府感染症情報センターホームページには、詳細な感染症発生動向状況等が掲載されています。あわせてご活用くださいますようお願い申し上げます。

《 大阪府感染症情報センター ホームページ 》

<http://www.iph.pref.osaka.jp/>

**【問合せ先】**

大阪府医師会・地域医療1課  
TEL 06-6763-7012

# 大阪府感染症発生動向調査週報（速報）

2023年 第14週（4月3日～4月9日）

## 今週のコメント

～A群溶血性レンサ球菌咽頭炎～ 手洗い、うがいが重要

### 定点把握感染症

「A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 今後の動向に注意」

第14週の小児科定点疾患・眼科定点疾患の報告数の総計は1,356例であり、前週比10.5%増であった。定点あたり報告数の第1位は感染性胃腸炎で以下、RSウイルス感染症、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、咽頭結膜熱、突発性発しんの順で、定点あたり報告数はそれぞれ4.44、1.18、0.63、0.28、0.22である。

感染性胃腸炎は前週比11%増の865例で、南河内7.88、泉州5.65、中河内5.10、大阪市西部4.80、三島4.53であった。

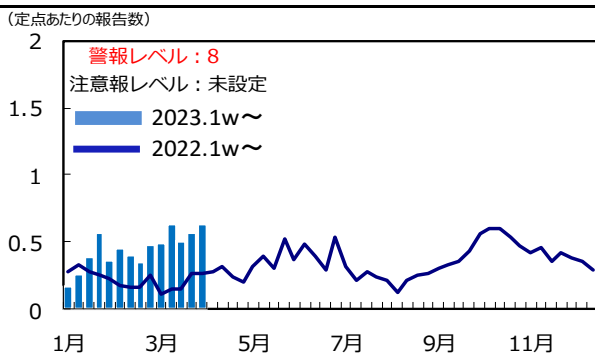
RSウイルス感染症は5%増の231例で、大阪市北部3.29、北河内1.52、大阪市西部1.50である。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は11%増の123例で、中河内1.00、大阪市南部0.94、北河内0.88であった。

咽頭結膜熱は57%増の55例で、大阪市北部0.50、堺市・南河内0.44である。

インフルエンザは32%減の342例で、定点あたり報告数は1.15であった。南河内2.67、大阪市北部1.65、豊能1.63、大阪市南部1.12、堺市1.07である。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



感染性胃腸炎

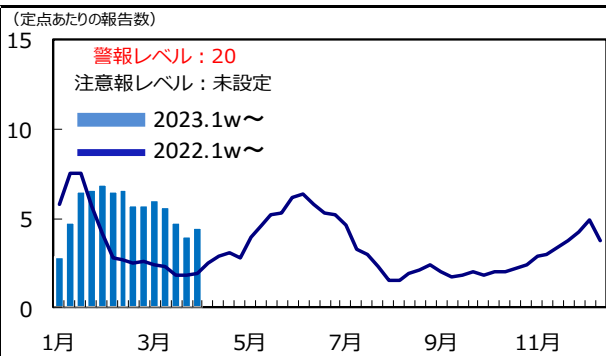


表1. 大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向（2023年 第14週4月3日～4月9日）

第14週の順位	第13週の順位	感染症	2023年 第14週の 定点あたり 報告数	前週比 増減	2022年 第14週の 定点あたり 報告数	2023年第14週の 年齢別 患者発生数 最大割合
1	1	感染性胃腸炎	4.44	11%増	1.87	1歳_15%
2	2	RSウイルス感染症	1.18	5%増	0.03	1歳未満_34%
3	3	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.63	11%増	0.27	4歳_20%
4	4	咽頭結膜熱	0.28	57%増	0.08	1歳, 2歳_31%
5	5	突発性発しん	0.22	26%増	0.30	1歳_63%
参考		インフルエンザ (インフルエンザ定点報告疾患)	1.15	32%減	0.00	20歳以上_29%

突発性発しんについては、(1)季節変動はないこと、(2)毎週の定点あたり報告数は一定していること、(3)年次による差異もほとんどないことから、本文には詳細に記載していません。第36週からインフルエンザの新シーズンの集計が始まりました。

## 第14週のコメント

～麻しん～ ワクチンで予防可能な感染症です。

全数把握感染症	
麻しん	
<p>麻しん（はしか）は麻しんウイルスによって引き起こされる発熱を伴う発しん性疾患で、感染すると高熱と結膜炎などの症状と、全身性の発しんが出現する。潜伏期間は1-2週間である。強い感染力（一人の患者が12～18人に感染伝播）のため、麻しん発生時には早期の診断と感染拡大に対する措置が重要となる。2015年3月、日本は麻しん排除国に認定されている。症状（発熱、せき、鼻水、眼球結膜の充血、発しん等）があり、</p> <p>1）1か月以内に麻しん患者と接触していた場合、2）麻しん流行国（主にアジア及びアフリカ諸国）に最近の旅行歴がある場合、麻しんを疑い、感染拡大を防止するため、医療機関を早期に受診する。受診に際し、医療機関に事前連絡し、麻しん疑いを伝え、指示に従うことが重要である。麻しんはワクチン（1歳以上で2回）で予防可能な感染症であり、接種の徹底が予防や感染拡大の防止に重要である。国際的な人の往来再開に際し、今後の動向を注視する必要がある。</p> <p><a href="#">麻しん（はしか）について</a>  <a href="#">麻疹とは(国立感染症研究所)</a></p>	

表2. 大阪府全数報告数（2023年 第14週4月3日～4月9日）

注意：この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります  
 （報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ【週報】>全数把握疾患 をご覧ください。）

	疾患名 ( )内の病型は今週報告分のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告数	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市	府内累積報告数
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	1					1				21
4類感染症	レジオネラ症（肺炎型）	3	1	1	1						28
5類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1		1							36
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	3			1	1				1	9
	侵襲性肺炎球菌感染症	1					1				30
	梅毒	20	1	1	1	2			1	14	480
	麻しん	1							1		1
新型インフルエンザ等感染症	新型コロナウイルス感染症	3,412	2020年1月以降累計 2,831,150								
結核 (2023年2月分)	結核 新登録患者数：45名 (内 肺・喀痰塗抹陽性 20名) (府内累積報告数 112名、内 肺・喀痰塗抹陽性 42名)										

(2023年4月11日 集計分)

新型コロナウイルス感染症の報告数は、大阪府の報道発表の報告数を示しています。

[詳細はリンク先の『令和2年11月2日以降』の情報をご覧ください。](#)

感染症発生動向調査情報 (ブロック別・疾患別・年齢別患者発生数)

2023年4月11日

(ブロック別)

(年齢別)

第14週 2023年4月3日～2023年4月9日

ブロック名		01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	合計
		豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市北部	大阪市西部	大阪市東部	大阪市南部	
定点数	小児科	23	17	25	20	16	18	20	14	10	14	18	195
	眼科	5	4	6	5	4	5	6	5	2	5	4	51
	基幹	2	2	2	2	1	2	1	4				16
	インフルエンザ	35	25	40	31	24	28	32	20	15	21	26	297
小児科 定点把握疾患	RSウイルス感染症	14	11	38	25	8	12	17	46	15	20	25	231
	咽頭結膜熱	5	5	5	4	7	8	5	7	2	4	3	55
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	5	4	22	20	8	15	12	11	1	8	17	123
	感染性胃腸炎	74	77	104	102	126	67	113	56	48	31	67	865
	水痘	3	0	1	3	0	1	1	0	0	2	2	13
	手足口病	1	0	0	1	1	2	0	0	0	0	1	6
	伝染性紅斑	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	3
	突発性発しん	10	2	7	5	5	0	1	3	5	1	4	43
	ヘルパンギーナ	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	4
	流行性耳下腺炎	0	0	2	0	1	2	0	1	0	0	0	6
把握科 定点疾患	急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	流行性角結膜炎	4	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	7
合計		117	99	179	163	158	108	149	125	71	66	121	1356
基幹 定点把握疾患	細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0				0
	無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	1				1
	マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0				0
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0				0
	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	0	0	0	0	0	1	0	0				1
イ定	インフルエンザ	57	14	37	28	64	30	18	33	10	22	29	342

年齢区分	6	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	15	20	合計
	ヶ月未満	ヶ月未満	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳から14歳	歳から19歳	歳以上	
R	36	43	64	38	31	11	4	2	0	0	0	2	0	0	231
咽	0	3	17	17	7	6	2	2	0	1	0	0	0	0	55
A	0	1	3	13	17	24	19	14	4	7	6	9	0	6	123
感	9	69	126	108	88	94	80	65	46	27	37	51	7	58	865
水	0	0	2	1	1	0	0	1	1	0	3	3	1	0	13
手	1	0	1	2	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	6
伝	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	3
突	0	8	27	6	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	43
へ	0	0	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
流	0	0	0	0	0	0	2	0	2	1	1	0	0	0	6
急	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	7
合計	46	124	241	186	150	136	107	84	54	36	47	65	9	71	1356
細	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
無	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
マ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ク	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
口	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
イ	2	8	28	23	24	18	20	18	15	12	10	43	21	100	342

前週比較・ブロック別・疾患別患者発生数

2023年4月11日

(ブロック別)

第14週 2023年4月3日～2023年4月9日

ブロック名	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	大阪府計	大阪市計	堺市計	東大阪市計	高槻市計	豊中市計	枚方市計	合計	上位5疾患順位	
	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市北部	大阪市西部	大阪市東部	大阪市南部										
定点数	小児科	23	17	25	20	16	18	20	14	10	14	18	84	56	18	12	8	9	8	195	
	眼科	5	4	6	5	4	5	6	5	2	5	4	20	16	5	3	2	2	3	51	
	基幹	2	2	2	2	1	2	1	4				7	4	2	1	2	0	0	16	
	インフルエンザ	35	25	40	31	24	28	32	20	15	21	26	130	82	28	18	13	13	13	297	
小児科 定点把握疾患	RSウイルス感染症	14	△ 11	△ 38	△ 25	▽ 8	▽ 12	▽ 17	46	△ 15	20	25	56	106	▽ 12	△ 22	△ 5	▽ 2	15	231	2
	咽頭結膜熱	▲ 5	5	△ 5	4	△ 7	△ 8	△ 5	△ 7	▽ 2	4	3	△ 21	▲ 16	△ 8	1	△ 1	△ 4	△ 1	△ 55	4
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	△ 5	△ 4	22	▲ 20	8	△ 15	12	▽ 11	1	▽ 8	17	34	37	△ 15	▲ 15	0	▼ 1	△ 14	123	3
	感染性胃腸炎	74	△ 77	104	△ 102	△ 126	67	113	△ 56	48	31	67	366	202	67	△ 56	▽ 24	23	53	865	1
	水痘	▽ 3	0	▽ 1	△ 3	0	△ 1	▽ 1	0	0	△ 2	▲ 2	▽ 2	△ 4	△ 1	0	0	▽ 2	▽ 0	13	
	手足口病	▽ 1	0	▼ 0	1	△ 1	▲ 2	0	0	▽ 0	▽ 0	△ 1	▼ 1	▼ 1	▲ 2	0	0	▼ 0	0	▼ 6	
	伝染性紅斑	0	0	0	0	▽ 2	△ 1	0	0	0	0	0	▽ 2	0	△ 1	0	0	0	0	3	
	突発性発しん	△ 10	△ 2	7	△ 5	△ 5	▽ 0	▽ 1	3	△ 5	1	▽ 4	11	13	▽ 0	△ 3	△ 1	▲ 4	3	△ 43	5
	ヘルパンギーナ	△ 1	▼ 0	0	0	0	▽ 0	0	△ 1	▽ 0	0	2	▼ 0	3	▽ 0	0	0	0	0	▼ 4	
	流行性耳下腺炎	0	0	▽ 2	▽ 0	1	▲ 2	▼ 0	△ 1	0	0	▽ 0	▽ 1	1	▲ 2	0	0	0	1	▼ 6	
把握科 定点疾患	急性出血性結膜炎	0	0	0	0	▽ 0	0	0	0	0	0	▽ 0	0	0	0	0	0	0	0	▽ 0	
	流行性角結膜炎	△ 4	▽ 0	0	△ 3	▽ 0	0	0	0	0	▼ 0	▽ 0	▽ 0	▼ 0	0	△ 1	0	△ 3	0	7	
合計		△ 117	△ 99	179	△ 163	△ 158	108	149	△ 125	71	66	121	494	383	108	△ 98	31	39	87	1356	
基幹 定点把握疾患	細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0	
	無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	1				0	△ 1	0	0	0	0	0	△ 1	
	マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0	
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0	
	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	0	0	0	0	▽ 0	△ 1	0	0				▽ 0	0	△ 1	0	0	0	0	0	1
イ定	インフルエンザ	57	▼ 14	▼ 37	▼ 28	64	▼ 30	▼ 18	33	▼ 10	▼ 22	29	▼ 118	▼ 94	▼ 30	△ 20	▼ 3	24	▼ 14	▼ 342	

△▽・・・前週比20%以上増減 ▲▼・・・二週連続前週比20%以上増減

全国感染症集計 2023年13週(03月27日～04月02日)

1～4類 (全数把握)	報告数
エボラ出血熱	0
クリミア・コンゴ出血熱	0
痘そう	0
南米出血熱	0
ベスト	0
マールブルグ病	0
ラッサ熱	0
新型インフルエンザ (A/H1N1)	0
急性灰白髄炎	0
結核	203
ジフテリア	0
重症急性呼吸器症候群 (病原体がベータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。)	0
中東呼吸器症候群 (病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。)	0
鳥インフルエンザ (H5N1)	0
鳥インフルエンザ (H7N9)	0
コレラ	0
細菌性赤痢	1
腸管出血性大腸菌感染症	28
腸チフス	0
パラチフス	0
E型肝炎	14
ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む。)	0
A型肝炎	0
エキノコックス症	0
黄熱	0
オウム病	0
オムスク出血熱	0
回帰熱	0
キャサヌル森林病	0
Q熱	0
狂犬病	0
コクシジオイデス症	0
サル痘	14
ジカウイルス感染症	0
重症熱性血小板減少症候群 (病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。)	2
腎症候性出血熱	0
西部ウマ脳炎	0
ダニ媒介脳炎	0
炭疽	0
チクングニア熱	0
つつが虫病	1
デング熱	3
東部ウマ脳炎	0
鳥インフルエンザ (H5N1 及びH7N9 を除く。)	0
ニパウイルス感染症	0
日本紅斑熱	1
日本脳炎	0
ハンタウイルス肺症候群	0
Bウイルス病	0
鼻疽	0
ブルセラ症	0
ベネズエラウマ脳炎	0
ヘンドラウイルス感染症	0
発しんチフス	0
ポツリヌス症	0
マラリア	1
野兔病	0
ライム病	0
リッサウイルス感染症	0
リフトバレー熱	0
類鼻疽	0
レジオネラ症	17
レプトスピラ症	0
ロッキー山紅斑熱	0

5類感染症の一部 (全数把握)	報告数
アメーバ赤痢	7
ウイルス性肝炎 (E型肝炎及びA型肝炎を除く。)	3
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	17
急性弛緩性麻痺 (急性灰白髄炎を除く。)	1
急性脳炎 (ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。)	4
クリプトスポリジウム症	0
クロイツフェルト・ヤコブ病	2
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	18
後天性免疫不全症候群	13
ジアルジア症	0
侵襲性インフルエンザ菌感染症	4
侵襲性髄膜炎菌感染症	0
侵襲性肺炎球菌感染症	25
水痘 (患者が入院を要すると認められるものに限る。)	6
先天性風しん症候群	0
梅毒	203
播種性クリプトコックス症	0
破傷風	1
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1
百日咳	18
風しん	0
麻しん	1
薬剤耐性アシネトバクター感染症	0

定点把握	報告数	定点当り
インフルエンザ	20013	4.06
R Sウイルス感染症	1514	0.48
咽頭結膜熱	578	0.18
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1624	0.52
感染性胃腸炎	11712	3.73
水痘	259	0.08
手足口病	277	0.09
伝染性紅斑	24	0.01
突発性発しん	755	0.24
ヘルパンギーナ	312	0.10
流行性耳下腺炎	97	0.03
急性出血性結膜炎	3	0.00
流行性角結膜炎	152	0.22
細菌性髄膜炎	6	0.01
無菌性髄膜炎	7	0.01
マイコプラズマ肺炎	9	0.02
クラミジア肺炎 (オウム病を除く。)	-	-
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	5	0.01

定点数	報告数
インフルエンザ	4934
小児科	3144
眼科	694
基幹病院	481

2月(月報)	報告数	定点当り
性感染症・基幹定点		
性器クラミジア感染症	2380	2.42
性器ヘルペスウイルス感染症	670	0.68
尖圭コンジローマ	526	0.54
淋菌感染症	691	0.70
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	1209	2.53
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	70	0.15
薬剤耐性緑膿菌感染症	10	0.02

定点数	報告数
STD	983
基幹病院	477

注意 記載データは速報性を重視していますので、今後の調査結果で若干変更が生じることがあります。

FAXによる配信から、より情報量の多いメール配信への切り替えをご希望される方は以下のメールアドレスまでご連絡ください  
survey@iph.osaka.jp